

『わたし』と『あなた』そして『みんな』で、なくせるものは！

<記入しながら、話し合ってみましょう。>

- この世の中から、なくなってほしいことを、思いつくまま書き出しましょう。

《例》戦争……いじめ……

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |

- その中で、人権と関わりのあるものを○で囲みましょう。
- ○で囲んだものについて、『わたし』や『みんな』の力でなくしていけるものを◎で囲みましょう。
- そのためには、どんな行動や活動ができるか話し合みましょう。

『私の人権感覚は!?!』を考えるヒント

- Q1 昔からの結婚観や家庭観が女性を家庭に縛りつけたり、社会進出を疎外してきたりした歴史があります。「専念すべき」など、決めつけたとらえ方は、男性側の立場から出ていることが多いのではないのでしょうか。
- Q2 反対に私たち自身が、外国で生活することになった場合を考えてみてください。文化や生活習慣の違いを認め合いながら、生活していくことが大切ではないのでしょうか。近くに住んでおられる外国の人を、家に招いたり、外国の人の家を訪問したりしてみませんか。
- Q3 子どもの権利が充分保障されていないことから、大人や社会への反発などが起きているようにも思います。また、「権利とそれに伴う責任」について子どもたちに考えさせる場も必要ではないのでしょうか。
- Q4 今後高齢者の増加とともに、高齢者が利用できる施設の不足が考えられます。一方、地域の中で高齢者が生き生きと暮らしていけるような、公的なサービスやボランティア活動などのサポート体制の必要性が高まってくるように思います。
- Q5 インターネット上には、電子掲示板を利用したネットニュースのような不特定多数の利用者間の反復的な情報の受発信等があります。その中には、人の心を傷付け、差別を助長するような書き込みが見られることがあります。悪質な書き込みの背景には、どんな意識が働いているのか考えてみましょう。
- Q6 日常生活の中には、さまざまな因習やしきたり、迷信等があります。「みんながそうしているから」「世間一般がそうだから」など、わたしたちもそれに合わせていることがあります。「六曜」や「清め塩」もその一つではないのでしょうか。因習や迷信などを温存することは、女性への差別や部落差別などさまざまな偏見や差別を温存・助長することにつながっていると考えられます。人権尊重の観点から、考えてみませんか。「清め塩」について、改革を進めている地域も出てきています。